

鍼灸治療とは、鍼を体に接触または刺入したり、艾を体の上で燃焼させたりする治療法で、経穴、いわゆるツボを使った治療として2000年以上の歴史があります。

療現場で積極的に取り入れ始められています。

経穴は、経絡上に位置している、その数はWHO（世界保健機関）で361穴と定められています。経穴の多くは、筋肉の間、関節や骨の陥凹部、神経線維や血管が密集しているところなどに存在しています。しかし、経穴の位置が国によって微妙に異なり、国際的に効用などを議論する際に混乱のもとになっていました。



大野 智

そこで、WHOを中心とした国際会議で検討を重ね、今年、361の経穴の位置が統一されました。今後の研究の進展が期待されます。

のほせの治療などとなつています。次に、鍼灸治療において気をつけなければならない点をとあげます。

わが国における鍼灸治療の歴史は古く、最近の調査でも日本人の2〜3割の人が一生のうち一度は鍼灸治療を受けたことがあるとされています。

## 症状改善に鍼灸活用

基本的な鍼灸治療は、疾患に対して治療を行うのではなく、さまざまな身体・精神症状を緩和したり、除去したりすることを目的としています。ですから、がんに関しては、がんを縮小させたり、消失させたりする鍼灸治療はないと考えたほうがよいでしょう。

しかし、近年、鍼灸治療が本来もっていた包括的・全人的な患者ケアの視点が注目され、がん患者のさまざまな症状の改善を目的に、がんの医

療現場で積極的に行われますが、疲労感や眠気、症状の一次的な悪化、ふらつき、めまいなどをおこすことがあります。

鍼による感染を心配する声もありますが、最近はいりかちの鍼も普及してきていますので、専門資格を持った施術者に鍼治療をしてもらう限り、問題はないと思われます。（金沢大学補完代替医療学特任助教）



金沢大学での鍼灸の講義